



# Solaris 9 Maintenance Update 3 ご 使用にあたって

---

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 817-1199-10  
2003 年 4 月

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品に含まれる HG 明朝 L、HG-MincyoL-Sun、HG ゴシック B、および HG-GothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HG 平成明朝体 W3@X12 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2、Solaris 9 Maintenance Update、SunOS、JumpStart は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。

本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。© 1997 ビレッジセンター

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(© 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 9 Maintenance Update 3 Installation Guide

Part No: 817-0489-11

Revision A



030421@5533



# 目次

---

はじめに	5
<b>1 概要</b>	<b>9</b>
Solaris 9 Maintenance Update 3 とは	9
いつ Solaris 9 Maintenance Update 3 をインストールするか	9
<b>2 Solaris 9 MU3 のインストール</b>	<b>11</b>
インストール時間について	11
インストール要件	11
Solaris 9 MU3 のインストール	12
Solaris 9 MU のバージョンの確認	15
<b>3 Solaris 9 MU3 のバックアウト</b>	<b>17</b>
Solaris 9 MU3 のバックアウト	17
<b>4 既知の問題</b>	<b>21</b>
インストールに関するバグ	21
SPARC: アップグレード後にパッチを削除すると WBEM リポジトリが壊れる可能性 がある (bug ID 4820614)	21
複数のパッチアーキテクチャをサポートするパッチをインストールすると、 patchadd がエラーメッセージを表示する (bug ID 4706994)	23
install_mu を sh で起動すると正常に動作しない (bug ID 4062334)	23
patchadd が終了メッセージを表示する	23
システムをリブートしないと login できない (bug ID 4423853)	24

**5 エラーメッセージ 27**

**A Solaris 9 MU3 の内容 31**  
パッチリスト 31

## はじめに

---

『Solaris 9 Maintenance Update 3 ご使用にあたって』では、Solaris™ 9 Maintenance Update 3 (MU3) のインストール方法およびバックアップ方法について説明します。このマニュアルには記載されていない、MU3 に関する最新の問題については、<http://docs.sun.com> の Solaris 9 Maintenance Update Collection を参照してください。

システム管理に関する一般的な手順の詳細は、Solaris 9 System Administrator Collection - Japanese を参照してください。

---

## 対象読者

このマニュアルは、MU3 をインストールするシステム管理者を対象としています。

---

## 内容の紹介

第1章では、Solaris 9 MU3 の概要を説明しています。

第2章では、Solaris 9 MU3 のインストール要件とインストールの手順について説明しています。

第3章では、Solaris 9 MU3 をバックアウトする手順について説明しています。

第4章では、既知のバグを一覧で示しています。

第5章では、インストールスクリプトとバックアップスクリプトの実行時に生成されるメッセージを示しています。

---

# Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、http://docs.sun.com です。

---

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上的コンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上的コンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING'</code>

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[ ] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

---

## 一般規則

- このマニュアルでは、英語環境での画面イメージを使っています。このため、実際に日本語環境で表示される画面イメージとこのマニュアルで使っている画面イメージが異なる場合があります。本文中で画面イメージを説明する場合には、日本語のメニュー、ボタン名などの項目名と英語の項目名が、適宜併記されています。
- このマニュアルでは、「x86」という用語は、Intel 32 ビット系列のマイクロプロセッサチップ、および AMD が提供する互換マイクロプロセッサチップを意味します。





# 第 1 章

---

## 概要

---

この章では、Solaris 9 MU3 の概要を述べるとともに、どのようなときにこの製品をインストールするかについて説明します。

---

## Solaris 9 Maintenance Update 3 とは

Solaris 9 MU3 には、Solaris 9 4/03 SOFTWARE CD にパッケージされているパッチと同一のセットが含まれています。MU3 のインストールを行うと、システムにインストール済みのパッチを削除することなく、システムを自動的に更新します。

Solaris 9 MU3 は、Web 上からファイルとしてダウンロードできます。

---

## いつ Solaris 9 Maintenance Update 3 をインストールするか

まず、システムで Solaris 9 オペレーティング環境を実行している必要があります。

そして、次の条件の両方に当てはまる場合には、Solaris 9 MU3 をインストールします。

- Solaris 9 4/03 オペレーティング環境でリリースされたパッチを適用したい
- 以前システムに適用したパッチをそのままにしておきたい

システムで Solaris 9 オペレーティング環境または Solaris 9 Update リリースを実行していて、最新の機能とハードウェアサポートにアップグレードしたい場合には、Solaris 9 4/03 オペレーティング環境をインストールしてください。Solaris 9 4/03 オ

オペレーティング環境をインストールすることによって適用されるパッチは、インストール済みの Solaris 9 パッチを上書きします。新たにインストールされたパッチは、このリリースからバックアウトすることはできません。

MU は主に、Solaris オペレーティング環境を検証されたパッチレベルまで更新するために設計されています。特定のパッチだけをインストールしたい場合は、通常のサポートチャネルを通じて行なってください。

---

注 - この製品名は Solaris 9 MU3 です。コードまたはパッケージのパス名には Solaris 2.9 または SunOS™ 5.9 が使用されている場合があります。このマニュアルに記載されているとおりのコードあるいはパス名を使用してください。

---

## 第 2 章

---

# Solaris 9 MU3 のインストール

---

この章では、Solaris 9 MU3 をインストールする方法について説明します。カスタム JumpStart™ インストールの一環として Solaris 9 MU3 をインストールする場合は、『Solaris 9 インストールガイド』を参照してください。

---

## インストール時間について

Solaris 9 MU3 のインストール時間は、次の項目によって異なります。

- マシンの CPU スピード
- 選択した `install_mu` オプション
- `install_mu` コードとパッチセットにアクセスするために使用する、ハードディスクまたはネットワークの転送速度

`-d` オプションを無効にして MU3 をインストールする場合、インストール時間は短縮されます。ただし、MU3 が提供するパッチはバックアウトできなくなります。

---

## インストール要件

MU3 は、Solaris 9 オペレーティング環境を実行しているシステム上のみインストールできます。

ファイルシステムごとに必要なディスク容量は次の条件によって異なります。

- `-d` オプションを選択したかどうか
- バックアウトデータを保存するときのバックアウトディレクトリの場所

- ディスクパーティションとファイルシステムごとに利用可能なディスク容量、およびそれに対するファイルシステムごとに必要なパッチ用のディスク容量
- システムのロケール
- すでにいくつかの MU パッチがシステムにインストールされているかどうか

`install_mu` スクリプトは、ディスク容量を算出します。このスクリプトは、ファイルシステムごとに必要なディスク容量を報告します。該当する場合は、バックアウトのディスク容量も報告します。ディスク容量の計算には数分かかります。

`install_mu` スクリプトは、1つまたは複数のファイルシステムに容量が足りないと判断した場合、それ以上処理しません。パッチのインストールに必要なディスク容量はほぼ正確に計算されます。しかし、バックアウトデータに必要なディスク容量は予測値です。実際に必要なディスク容量よりも多く報告されることがあります。

次の条件の両方に当てはまる場合には、`install_mu` に `-f` オプションを付けて実行します。

- パッチセット (および、必要であればバックアウトデータ) を適用するのに十分なディスク容量があることがわかっている
- ディスク容量の計算を省略したい

---

## Solaris 9 MU3 のインストール

Solaris 9 MU3 をインストールするには、`install_mu` を実行するシステムで、Solaris 9 オペレーティング環境がすでに稼働していなければなりません。

---

注 – Solaris 9 MU3 では、再配置可能なルートおよびサービス領域はサポートされません。

---

MU3 はシステムライブラリにパッチを適用するため、MU3 をインストールする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。マルチユーザーシステムでは、個々のシステムが不安定にならないようにしてください。パッチを当てていないバージョンのライブラリにマップしているプロセスが存在しないことを確認してください。このようなプロセスが存在すると、あとで古いライブラリの別のセクションにマップしようとする可能性があります。

シングルユーザーモードでは、ネットワークサービスは使用できません。シングルユーザーモードでシステムをブートする前に、MU3 イメージをネットワークからローカルシステムにコピーしておく必要があります。

次のどちらかに当てはまる場合、マルチユーザーモードで NFS を使用して MU3 をインストールすることになります。

- システムをシングルユーザーモードにできない
- 十分なディスク容量がないため、MU3 イメージをローカルにコピーできない

この場合、システムをできるだけ静かな状態 (つまり、ユーザーがすべてログアウトし、実行されているジョブがない状態) にしておく必要があります。

シングルユーザーまたはマルチユーザーのどちらのモードで MU3 をインストールした場合でも、インストール後、システムをリブートする必要があります。exit コマンドは使用しないでください。exit コマンドを使用すると、システムは `init 3` の状態になり、システムがリブートされるまでどのユーザーもログインできなくなります。root ユーザーがログアウトしてしまい、他に root ユーザーが一人もログインしていない場合は、システムをリブートする必要があります。詳細は、第 4 章「既知の問題」を参照してください。

---

注 - 必ずオペレーティングシステムのバックアップをとってから、次の手順に進んでください。

---

Solaris 9 MU3 をインストールするには、次の手順に従います。

1. 重要なユーザープロセスまたは重要なシステムプロセスが実行されていないことを確認します。

---

注 - `powerd` プロセスが動作している場合は、そのプロセスを `kill` する必要があります。

---

2. 現在のセッションを終了します。  
CDE ログイン画面が表示されます。
3. 「オプション」ボタンをクリックして、「コマンド行ログイン」を選択します。  
ログインプロンプトが表示されます。
4. ログイン名として **root** と入力し、**root** のパスワードを入力します。  

```
login: root
password: root password
```
5. シングルユーザーモードでリブートします。**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。  

```
# reboot -- -s
```
6. **root** パスワードを入力します。  
次のメッセージが表示され、システムがシステム保守モードになります。

```
Entering System Maintenance Mode
```

Sun Microsystems Inc. SunOS 5.9 Generic May 2002  
#

7. **install\_mu** を実行します。MU3 イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory
# ./install_mu options
```

以下のオプションがコマンド行で使用できます。

表 2-1 install\_mu のコマンド行オプション

オプション	説明
-d	パッチをバックアップしない。この引数を使うとソフトウェアのインストール時間が短縮される。ただし、個々のパッチをバックアウトできなくなる。-B オプションと組み合わせて使うことはできない
-p patchdir	すべてのパッチが含まれているディレクトリを指定する
-q	install_mu の処理状況を示すドットの表示を無効にする
-B backoutdir	指定したディレクトリにバックアウトデータを保存する。-d オプションと組み合わせて使うことはできない
-f	十分なディスク容量があるかどうかをチェックせずに、パッチセットをインストールする。このオプションを使用すると時間が短縮される。ただしこのオプションは、十分な容量があることがわかっている場合にだけ使用する

8. インストールが完了したときに、次のメッセージが表示されることを確認してください。

```
install_mu completed at date_time.
```

- このメッセージが表示された場合は、手順 9 に進みます。
- エラーが発生した場合は、第 5 章を参照してください。

9. 次のように実行してシステムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

---

注 - ライブラリの衝突を防ぐために、MU3 をインストールしたあとは必ずシステムをリブートしてください。

---

10. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login
password: password
```

---

## Solaris 9 MU のバージョンの確認

Solaris 9 MU のバージョンを確認するには、次のように実行します。

```
# cat /etc/release
```

MU がシステムに適用したパッチを確認するには、次のように実行します。

```
# showrev -p
```

---

注 – Solaris 9 MU3 を適用した場合の `showrev -p` 出力と Solaris 9 4/03 オペレーティング環境をインストールした場合の `showrev -p` 出力を比較すると、MU3 インストールでは次のパッチが適用されないことがわかります。

```
113088-01
113089-01
113090-01
113113-01
113168-02
113409-01
113477-02
113503-01
113717-06
113908-01
113909-01
114520-04
114607-01
```

---





## 第 3 章

---

# Solaris 9 MU3 のバックアウト

---

必要に応じて個々のパッチを削除できます。ただし、Solaris 9 MU3 のインストール時に `install_mu` の `-d` オプションを使用しなかった場合に限りです。

個々のパッチをバックアウトする手順は、それぞれのパッチのディレクトリにあります。パッチのディレクトリは `/var/sadm/patch/` にあります。

---

注 - `install_mu` の `-d` オプションを使用した場合、MU 全体をバックアウトすることもできません。

---

---

# Solaris 9 MU3 のバックアウト

MU3 をバックアウトする前にシステムをシングルユーザーモードでリブートするのが最善の方法です。MU3 はシステムライブラリにパッチを適用します。マルチユーザーシステムでは、個々のシステムが不安定にならないようにしてください。パッチを当てたバージョンのライブラリにマップしているプロセスが存在しないことを確認してください。このようなプロセスが存在すると、あとで古いライブラリの別のセクションにマップしようとする可能性があります。

シングルユーザーモードでは、ネットワークサービスは使用できません。シングルユーザーモードでシステムをブートする前に、MU3 イメージをネットワークからローカルシステムにコピーしておく必要があります。

次のどちらかに当てはまる場合、マルチユーザーモードで NFS を使用して MU3 をバックアウトすることになります。

- システムをシングルユーザーモードにできない
- 十分なディスク容量がないため、MU3 イメージをローカルにコピーできない

MU3 が提供する `backout_mu` スクリプトを使用すると、MU 全体をバックアウトできます。

Solaris 9 MU3 をバックアウトするには、次の手順に従います。

1. 重要なユーザープロセスまたは重要なシステムプロセスが実行されていないことを確認します。
2. 現在のセッションを終了します。  
CDE ログイン画面が表示されます。
3. 「オプション」ボタンをクリックして、「コマンド行ログイン」を選択します。  
ログインプロンプトが表示されます。

4. ログイン名として **root** と入力し、**root** のパスワードを入力します。

```
login: root
password: root password
```

5. シングルユーザーモードでリブートします。**root** のシェルプロンプトで次のように実行します。

```
# reboot -- -s
```

6. **root** パスワードを入力します。  
次のメッセージが表示され、システムがシステム保守モードになります。

```
Entering System Maintenance Mode
```

```
Sun Microsystems Inc. SunOS 5.9 Generic May 2002
#
```

7. **backout mu** を実行します。**MU3** イメージのローカルコピーから実行するには、次のように入力します。

```
# cd local_directory
# ./backout_mu options
```

表 3-1 `backout_mu` のコマンド行オプション

オプション	説明
<code>-q</code>	<code>backout_mu</code> の処理状況を示すドットの表示を無効にする
<code>-B backoutdir</code>	バッチをバックアウトするのに必要な情報を保存している代替ディレクトリを指定する

8. バックアウトが完了したときに、次のメッセージが表示されることを確認してください。

```
backout_mu completed at date_time.
```

- このメッセージが表示された場合は、手順 9 に進んでバックアウトを完了します。

- エラーが発生した場合は、第 5 章を参照してください。

9. 次のように実行してシステムをリブートします。

```
# sync ; reboot
```

ログインプロンプトが表示されます。

---

注 – ライブラリの衝突を防ぐために、MU3 をバックアウトしたあとは必ずシステムをリブートしてください。

---

10. ログイン名とパスワードを入力します。

```
login: login
```

```
password: password
```



## 第 4 章

---

### 既知の問題

---

この章では、Solaris 9 MU3 のインストールと使用に関連する既知の問題について説明します。

---

#### インストールに関するバグ

##### SPARC: アップグレード後にパッチを削除すると WBEM リポジトリが壊れる可能性がある (bug ID 4820614)

WBEM リポジトリ CIM データベースは、次の条件が重なると壊れる可能性があります。

1. 以下に示す Solaris 9 9/02、12/02、または 4/03 オペレーティング環境のパッチのどれかを、Solaris 9 オペレーティング環境が動作しているシステムに適用する。

リリース	パッチ
Solaris 9 9/02	112945-03
Solaris 9 12/02	112945-05
Solaris 9 4/03	112945-14

2. その後、上で適用したパッチを削除する。

WBEM リポジトリが壊れると、Solaris 管理コンソールのログビューアに次のエラーメッセージが表示されます。

```
CIM_ERR_FAILED:
/usr/sadm/lib/wbem/../../../../var/sadm/wbem/logr/
preReg/PATCH113829install/Solaris_Application.mof,18,ERR_SEM,
ERR_EXC_SET_CLASS,CIM_ERR_FAILED:Other Exception:
java.io.StreamCorruptedException: invalid stream header
```

回避方法:次に示す回避方法のどれか1つを選択してください。

- WBEM リポジトリが壊れないように防止するには、次の手順に従ってください。

1. スーパーユーザーになります。
2. パッチを適用する前に、WBEM リポジトリをバックアップします。

```
# cp -r /var/sadm/wbem/logr path/logr
```

*path* には、バックアップ WBEM リポジトリのパスを指定します。

3. パッチをバックアウトしたあとで WBEM リポジトリが壊れた場合は、WBEM サーバーを停止します。

```
# /etc/init.d/init.wbem stop
```

4. バックアップ WBEM リポジトリを復元します。

```
# cp -rf path/logr /var/sadm/wbem/logr
```

5. WBEM サーバーを再起動します。

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

- 新しい WBEM リポジトリを作成するには、次の手順に従ってください。

---

注 – この回避方法では、壊れた WBEM リポジトリのデータは復元できません。インストール時にこのリポジトリに追加されたデータは、すべて失われます。

---

1. スーパーユーザーになります。
2. WBEM サーバーを停止します。
3. /logr ディレクトリからファイルを削除します。

```
# rm /var/sadm/wbem/logr/*
```

4. /notFirstTime ディレクトリを削除します。

```
# rmdir notFirstTime
```

5. WBEM サーバーを起動します。

```
# /etc/init.d/init.wbem start
```

6. 独自の MOF が存在する場合は、それらを手動でコンパイルします。

```
# /usr/sadm/bin/mofcomp MOF-filename
```

## 複数のパッチアーキテクチャをサポートする パッチをインストールすると、patchadd がエ ラーメッセージを表示する (bug ID 4706994)

複数のパッケージアーキテクチャをサポートするパッチをインストールすると、次のようなエラーメッセージが

/var/sadm/install\_data/Maintenance\_Update\_log に表示されることがありますが、このエラーメッセージは致命的エラーを意味するものではありません。

```
Installing xxxxx-yy (x of xx)
See /var/sadm/patch/xxxxx-yy log for details
grep: can't open pdgabbrev.extension/pkginfo
```

たとえば、パッチ 123456-01 にパッチパッケージ SUNWcar と SUNWcar.u が含まれていた場合、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
grep: can't open SUNWcar.u/pkginfo
```

回避方法: このエラーメッセージは無視してください。このメッセージは、パッチのインストールには影響しません。これは、patchadd(1M) から remove\_PATCH\_PROPERTIES() 関数へ、適切なパラメータが渡されなかったことを示します。

## install\_mu を sh で起動すると正常に動作しない (bug ID 4062334)

sh(1) と ksh(1) とのやりとりに問題があるため、install\_mu ユーティリティが特定のパッチを正常にインストールできないことがあります。この障害は、コマンド行または管理スクリプトから次のコマンドを使用して install\_mu を起動すると発生します。

```
# /bin/sh ./install_mu options
```

回避方法: install\_mu は、コマンド行または管理用スクリプトから次のように実行してください。

```
# ./install_mu options
```

## patchadd が終了メッセージを表示する

/var/sadm/install\_data ディレクトリの Maintenance\_Update\_log 内に、次に示すメッセージのどちらかが表示される可能性があります。これらのメッセージは問題のあるものではありません。

```
One or more patch packages included in
XXXXXX-YY are not installed on this system.
```

Patchadd is terminating.

または

```
Installation of XXXXXX-YY failed:  
Attempting to patch a package that is not installed.
```

このメッセージは、該当のパッチの対象となるパッケージがシステム上に見当たらないため、patchadd がそのパッチを適用しなかったことを示します。

あるアーキテクチャのパッチを別のアーキテクチャのシステムにインストールしようとする、patchadd はそれを検知し、このメッセージを表示します。たとえば、sun4u パッチを sun4m システムにインストールしようとしたときなどです。

このメッセージは、1つまたは複数のパッケージが見つからない場合にも表示されません。管理者がパッケージを削除した可能性や、もともとインストールされていない可能性 (全体ディストリビューションより小さいクラスタをインストールした場合など) があります。

回避方法: このメッセージは無視してください。

## システムをリブートしないと login できない (bug ID 4423853)

シングルユーザーモードでインストールする場合は、終了時に exit コマンドを使用しないでください。reboot コマンドを使用してください。reboot コマンドではなく exit コマンドを使用すると、次のようになります。

- システムが init 3 の状態になり、システムがリブートされるまでログインできない
- システムがリブートされるまで、他のユーザーもログインできない
- ユーザーやプロセスがログインしようとする、pam\_projects.so.1 がコアダンプする。次のメッセージが表示される

```
NOTICE: core_log: in.rshd[1479] core dumped:  
/var/crash/core.in.rshd.1479
```

- プロセスが pam\_projects.so.1 モジュールにアクセスしようとする、システムコンソールに「load module」メッセージが表示される。次のようなメッセージが表示される

```
cron[1433]: load_modules: can not open module  
/usr/lib/security/pam_projects.so.1
```

これらのメッセージは、マルチユーザーモードで MU3 をインストールした場合にも表示されます。どちらの場合でも、システムをリブートすればメッセージは表示されなくなります。

回避方法: シングルユーザーモードで MU をインストールしたあと exit コマンドを使用してしまった場合は、システムをリブートしてください。



マルチユーザーモードで MU をインストールしたあと `exit` コマンドを使用してしまった場合で、`root` ユーザーが一人もログインしていないときにも、システムをリブートしてください。



## 第 5 章

# エラーメッセージ

---

`install_mu` および `backout_mu` 実行時に画面に表示されるメッセージには、すべてのエラーが含まれているとは限りません。詳細ログファイルを調べて、インストールされなかったりバックアウトされなかったりしたパッチやパッケージについての追加情報がないかどうか確認してください。

```
# more /var/sadm/install_data/log_file.mu_version_name.date_time
```

上記の例では、引数の各部分の意味は次のとおりです。

- `log_file` は、完了したプロセスのログファイル名。インストールの場合は、`Maintenance_Update_log` となる。バックアウトの場合は、`MU_Backout_log` となる
- `mu_version_name` は、MU のバージョン。MU3 の場合は `Solaris_9MU3` となる
- `date_time` は、`date +%y%m%d%H%M%S` からコピーされた指定日時 (`yyyymmddHHMMSS`)

---

注 - `/var/sadm/install_data/log_file` は最新の MU ログファイルへのシンボリックリンクです。

エラーメッセージにはエラーの内容だけが表示されます。ここで示しているエラーコード番号は表示されません。ここで示しているエラーコード番号は参照用です。`install_mu` または `backout_mu` を呼び出すスクリプトを作成するときがあります。そのようなスクリプトでは、異常終了時の戻り値が必要になります。

---

```
signal detected.
```

```
install_mu (backout_mu) is terminating.
```

説明と対処方法:(エラーコード 1) `Control-C` が押されて、`install_mu` (または、`backout_mu`) に割り込みが発生しました。プログラムを起動し直してください。`install_mu` を起動し直した場合は、割り込み発生以前に適用したパッチについてのエラーメッセージがログファイルに現れるようになります。これらのエラーメッセージは無視してください。

install\_mu (backout\_mu) is unable to find the INST\_RELEASE file for the target file system. This file must be present for install\_mu (backout\_mu) to function correctly.

説明と対処方法:(エラーコード 2) システム内に

/var/sadm/system/admin/INST\_RELEASEが見つかりません。システムが壊れています。システムを再インストールする必要があります。

ERROR: Cannot find *\$xcommand* which is required for proper execution of install\_mu (backout\_mu).

説明と対処方法:(エラーコード 3) install\_mu および backout\_mu を実行するには、特定のシステムユーティリティ (たとえば、awk、sed、grep) が /usr/bin ディレクトリおよび /usr/sbin ディレクトリに必要です。これらのユーティリティの1つがありません。システム管理者に問い合わせてください。

The -B and -d arguments are mutually exclusive.

説明と対処方法:(エラーコード 4) -d オプションを使用すると、バックアウトデータは保存されません。-B オプションは、バックアウトデータを保存するディレクトリを指定します。これら2つのオプションは一緒に使用できません。どちらか1つのオプションだけで、install\_mu を起動し直してください。

The -p parameter must be a directory. *\$uPATCHDIR* is not a directory.

説明と対処方法:(エラーコード 5) -p オプションに指定した引数が有効なディレクトリではありません。有効なディレクトリを -p オプションに指定して、install\_mu (または、backout\_mu) を起動し直してください。

The -B parameter must be a directory. *\$l* is not a directory.

説明と対処方法:(エラーコード 6) -B オプションに指定した引数がディレクトリではありません。有効なディレクトリを -B オプションに指定して、install\_mu (または、backout\_mu) を起動し直してください。

Permissions on backout directory *\$BACKOUTDIR* not adequate.

説明と対処方法:(エラーコード 7) -B オプションに指定した引数が書き込み可能なディレクトリではありません。システム管理者に問い合わせてください。

Invalid option.

説明と対処方法:(エラーコード 10) 指定したオプションを認識できません。表示された使用方法を読んで、install\_mu (または、backout\_mu) を起動し直してください。

Can't write to Log File: *\$LOGFILE*

説明と対処方法:(エラーコード 11) install\_mu と backout\_mu は、そのログを /var/sadm/install\_data ディレクトリに書き込みます。この install\_data ディレクトリが書き込み可能かどうかを確認して install\_mu (または、backout\_mu) を起動し直してください。

SUNWcar (core architecture root) package does not exist in  
/var/sadm/pkg.

説明と対処方法:(エラーコード 12) /var/sadm/pkg/SUNWcar ディレクトリがシステムに存在しません。システムが壊れています。システム管理者に問い合わせてください。

install\_mu (backout\_mu) only supports the sparc architecture.  
install\_mu (backout\_mu) has detected ARCH= \$LPROC

説明と対処方法:(エラーコード 13) SPARC® アーキテクチャ以外のシステム上で install\_mu (または backout\_mu) を実行しました。SPARC プラットフォーム上で、install\_mu (または backout\_mu) を起動し直してください。

-p parameter does not point to a directory containing a .order  
file. Looked in \$uPATCHDIR and in \$uPATCHDIR/MU/sparc/Patches.

説明と対処方法:(エラーコード 14) パッチディレクトリへのパスが指定されました。しかし、install\_mu は指定されたディレクトリで .order ファイルを見つけることができませんでした。 .order はパッチインストール順序を決めるために必要なファイルです。install\_mu は、\$path\_you\_specified および \$path\_you\_specified/MU/sparc/Patches 内を検索しました。 .order ファイルが存在することを確認して、install\_mu を起動し直してください。

install\_mu cannot locate patch order (.order) file. Paths  
searched: ./sparc/Patches, MU/sparc/Patches,  
./\$uPATCHDIR/MU/sparc/Patches.

説明と対処方法:(エラーコード 15) パッチディレクトリを特定する -p オプションが install\_mu (または、backout\_mu) に指定されていないので、install\_mu (または、backout\_mu) はパッチディレクトリを見つけることができません。 -p オプションを指定して、install\_mu (または、backout\_mu) を起動し直してください。

You must be root to execute this script.

説明と対処方法:(エラーコード 16) install\_mu (または、backout\_mu) を実行するには、root 権限が必要です。これは、root ユーザーだけがパッチを適用および削除できるからです。root としてプログラムを起動し直してください。

install\_mu (backout\_mu) can only patch version 2.9 systems.  
Target system is version \$TrgOSVers.

説明と対処方法:(エラーコード 17) Solaris 9 が稼働していないシステムにパッチを適用しようとして install\_mu を実行しました。または、Solaris 9 が稼働していないシステムからパッチをバックアウトしようとして backout\_mu を実行しました。 install\_mu および backout\_mu は、Solaris 9 が稼働しているシステム上で実行してください。

Not enough disk space to apply entire patch set.

説明と対処方法:(エラーコード 22) install\_mu がシステムを解析した結果、1つまたは複数のファイルシステムで、パッチセット全体をインストールするのに十分なディスク容量がないことが判明しました。不足していると報告されたファイルシ

システムの空きディスク容量を増やして、install\_mu を起動し直してください。  
MU3 を適用するのに十分なディスク容量があるとわかっている場合は、-f オプションを指定して install\_mu を起動し直してください。

Not enough disk space to save patch backout data.

説明と対処方法:(エラーコード 23) install\_mu がシステムを解析した結果、パッチのバックアウトデータを保存するのに十分なディスク容量がバックアウトディレクトリにないことが判明しました。十分なディスク容量を持つバックアウトディレクトリを選択して、install\_mu を起動し直してください。バックアウトディレクトリに十分なディスク容量があるとわかっている場合は、-f オプションを指定して install\_mu を起動し直してください。

Dry run disk space check failed.

説明と対処方法:(エラーコード 24) install\_mu は特別なオプションを指定して pkgadd を呼び出し、十分なディスク容量があるかどうかを検査します。/または /var のディスク容量が極端に少ないか、システムが壊れている可能性があるため、pkgadd が異常終了しました。システム管理者に問い合わせてください。

The -f and -D options are mutually exclusive.

説明と対処方法:(エラーコード 25) install\_mu に -f オプションを指定すると、ディスク容量の事前計算を省略します。-D オプションを指定すると、その事前計算だけを行います。どちらか一方のオプションを選択してください。

Cannot find state file. Looked for a file of the form  
/var/sadm/install\_data/.mu\_state.{ \$root\_or\_usr.date\_time }.

説明と対処方法:(エラーコード 27) backout\_mu は、バックアウトするパッチを調べるために、install\_mu によってインストールされたパッチのリストが入っているファイルを必要とします。このファイルがない場合、backout\_mu は機能しません。

## 付録 A

# Solaris 9 MU3 の内容

---

この付録では、Solaris 9 MU3 の全パッチの一覧を示します。

次の例は、1つのパッチを表します。

108561-02 : CDE 1.4 Window Manager Features Patch

4301525 4301522 4299651 4301229 4300013 4303415 4304468 4302626

パッチの各部分の意味は次のとおりです。

- 108561-02 は、パッチの ID 番号
- CDE 1.4 Window Manager Features Patch は、パッチの概要
- 4301525 4301522 4299651 4301229 4300013 4303415 4304468 4302626 は、patch ID 108561-02 によって修正されたバグ ID 番号

---

## パッチリスト

- **111703-03 – SunOS 5.9: /usr/ccs/bin/sccs and /usr/ccs/bin/make patch**

4654328 4222874 4514485 4483221 4504348 4631517 4654957

- **111711-03 – 32-bit Shared library patch for C++**

4618537 4619221 4660290 4668167 4679619 4680478 4686364 4709155 4710815 4302954 4698028  
4699194 4704604 4708982 4745600 4747931 4749398 4749628 4750936 4756106

- **111712-03 – 64-Bit Shared library patch for C++**

4618537 4660290 4668167 4679619 4680478 4686364 4709155 4710815 4302954 4698028 4699194  
4704604 4708982 4745600 4747931 4749398 4749628 4750936 4756106

- **111722-02 – SunOS 5.9: Math Library (libm) patch**

4652341 4664522 4810765

■ **112233-05 – SunOS 5.9: Kernel Jumbo Patch**

4114317 4201022 4254013 4360843 4382913 4462509 4466085 4484338 4491038 4496935 4498831  
4500536 4511634 4521521 4521525 4522402 4525533 4527648 4532512 4533078 4533108 4533270  
4533712 4618812 4619870 4623395 4627510 4627620 4629569 4630754 4633008 4633015 4636049  
4637031 4638346 4638608 4638981 4640282 4640982 4642754 4643857 4644123 4644346 4644731  
4647361 4648171 4649851 4650210 4651201 4653044 4655634 4659588 4664740 4666799 4669486  
4672677 4672730 4674788 4675827 4676535 4676707 4677620 4682258 4682918 4686943 4687362  
4691127 4691670 4693350 4693574 4698325 4698684 4701854 4702559 4707874 4708822 4709147  
4709805 4711013 4711133 4712247 4713409 4714245 4714688 4717581 4718366 4719361 4719365  
4720790 4725524 4726041 4729479 4731198 4735093 4739920 4742711 4745795 4748411 4749934  
4756968 4757023 4757311 4757718 4772038 4772938 4779758 4780672 4781113 4785538 4786613  
4804524 4714062

■ **112540-07 – SunOS 5.9: Expert3D IFB Graphics Patch**

4652111 4645735 4650501 4316968 4515693 4494062 4497748 4649811 4652804 4654897 4659006  
4663042 4624812 4663732 4664981 4651919 4697564 4703423 4668373 4655393 4675933 4698167  
4691212 4617170 4720843 4731406 4733511 4773758 4744109

■ **112565-11 – SunOS 5.9: XVR-1000 GFB Graphics Patch**

4636225 4640002 4629777 4638125 4635704 4643375 4587680 4636721 4639155 4643767 4637546  
4636748 4641167 4641177 4636866 4636788 4636846 4637796 4652512 4669035 4668381 4670095  
4674533 4679353 4685579 4708069 4664996 4671387 4675252 4679830 4699753 4703545 4730199  
4717529 4676118 4739840 4734313 4758471 4759742 4745719 4766223 4674551 4772063 4772398  
4768264 4775646 4771302 4781933 4783131 4790859 4792390 4772798 4649442

■ **112601-04 – SunOS 5.9: PGX32 Graphics**

4502887 4633850 4688024 4728662

■ **112617-02 – CDE 1.5: rpc.cmsd patch**

4641721 4687131

■ **112620-03 – SunOS 5.9: Elite3D AFB Graphics Patch**

4651358 4714683 4747203 4750896 4685879

■ **112621-05 – SunOS 5.9: Creator and Creator3D: FFB Graphics Patch**

4663332 4651358 4714683 4747203 4750896 4685879 4649465

■ **112622-08 – SunOS 5.9: M64 Graphics Patch**

4531901 4632595 4668719 4672129 4682681 4452851 4633941 4684877 4692693 4737335 4749353  
4769331 4735033

■ **112661-04 – SunOS 5.9: IIIM and X Input & Output Method patch**

4593130 4412147 4726723 4629783 4721656 4721661 4742096 4691874 4650804 4774826 4645171  
4643078 4664772 4604634 4617694 4617691 4471922 4691871 4686165 4515546 4772485 4777933  
4776987

■ **112764-06 – SunOS 5.9: Sun Quad FastEthernet qfe driver**

4807151 4790953 4772916 4760845 4681502 4738051 4727494 4704689 4717401 4719739 4451757  
4367043 4411205 4664588 4655451 4292608 4645631

■ **112771-10 – Motif 1.2.7 and 2.1.1: Runtime library patch for Solaris 9**



4512887 4663311 4664492 4679034 4615922 4661767 4699202 4741124 4757112 4743372 4712265  
4750419 4717502 4764309 4787387

■ **112783-01 – X11 6.6.1: xterm patch**

4636452 4657934

■ **112785-13 – X11 6.6.1: Xsun patch**

4649617 4651949 4642632 4644622 4531892 4692623 4700844 4712590 4710958 4710402 4703884  
4638864 4729267 4675755 4677235 4729905 4763009 4707069 4709009 4760672 4734353 4762797  
4740125 4732113 4676222 4753720 4736505 4780894 4633549 4798375 4742744

■ **112787-01 – X11 6.6.1: twm patch**

4659947

■ **112804-01 – CDE 1.5: sdtname patch**

4666081

■ **112805-01 – CDE 1.5: Help volume patch**

4666089

■ **112806-01 – CDE 1.5: sdtaudiocontrol patch**

4666089

■ **112807-04 – CDE 1.5: dtlogin patch**

4667119 4648724 4750889 4761698 4807292 4720523

■ **112808-03 – OpenWindows 3.6.3: Tooltalk patch**

4668701 4707187 4713445

■ **112809-02 – CDE:1.5 Media Player (sdtjmplay) patch**

4663628 4731319

■ **112810-04 – CDE 1.5: dtmail patch**

4712584 4715670 4786715 4714769 4715322

■ **112811-01 – OpenWindows 3.7.0: Xview Patch**

4690979

■ **112812-01 – CDE 1.5: dtlp patch**

4646929

■ **112817-06 – SunOS 5.9: Sun GigaSwift Ethernet 1.0 driver patch**

4658962 4651090 4648346 4647988 4645885 4637950 4629291 4675241 4640855 4686107 4686121  
4686126 4704372 4696480 4703803 4699088 4698533 4687821 4678583 4704413 4703839 4707612  
4702980 4690650 4690643 4730696 4728208 4724811 4717637 4717385 4681554 4708816 4678908  
4710796 4735212 4708099 4735224 4735240 4746230 4739846 4738499 4753634 4754360 4753629  
4763533 4762837

■ **112834-02 – SunOS 5.9: patch scsi**

4628764 4656322 4656416

- 4638788

  - **112835-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/clinfo**
- 4660516 4756231

  - **112836-02 – SunOS 5.9: patch scsa2usb**
- 4621740

  - **112837-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/inet/in.dhcpd**
- 4407705 4496757 4711639 4716448 4717617

  - **112838-05 – SunOS 5.9: pcicfg Patch**
- 4254013 4533712 4647410 4647927 4667173 4795308

  - **112839-04 – SunOS 5.9: patch libthread.so.1**
- 4619267 4652995 4756231

  - **112840-03 – SunOS 5.9: patch platform/SUNW,Sun-Fire-15000/kernel/drv/sparcv9/axq**
- 4652995 4659588 4664749 4669462 4696700 4769147

  - **112841-06 – SunOS 5.9: drmach patch**
- 4511634 4647983

  - **112854-02 – SunOS 5.9: icmp Patch**
- 4658681 4685336 4706059 4681374 4733193 4734495 4736248 4775204 4767999 4809660

  - **112868-07 – SunOS 5.9: OS Localization message patch**
- 1258570 4192824 4221365 4248430 4254013 4318178 4390053 4444569 4503048 4510326 4518988  
4530367 4533712 4635556 4661997 4669963 4683320 4694626 4700602 4704190 4709984 4749274  
4756113 4767215 4770160 4772960

  - **112874-14 – SunOS 5.9: patch libc**
- 4664537

  - **112875-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/netsvc/rwall/rpc.rwalld**
- 4396697 4417647 4425786 4479794 4488694 4502640 4511634 4592876 4639079 4644731 4645471  
4647361 4648388 4649557 4656795 4658216 4660167 4662169 4662866 4673676 4682913 4688392  
4688398 4688704 4691577 4694560 4712511 4749268 4763402 4784039

  - **112902-11 – SunOS 5.9: kernel/drv/ip Patch**
- 4396697 4417647 4425786 4479794 4592876 4648388 4660167 4688392 4688398 4688704 4694560

  - **112903-03 – SunOS 5.9: tun Patch**
- 4645471 4687850

  - **112904-02 – SunOS 5.9: tcp Patch**
- 4644731 4647361 4712511

  - **112905-02 – SunOS 5.9: ippctl Patch**

■ **112906-01 – SunOS 5.9: ipgpc Patch**

4644731 4647361

■ **112907-01 – SunOS 5.9: libgss Patch**

4197937 4220042 4642879

■ **112908-07 – SunOS 5.9: gl\_kmech\_krb5 Patch**

4197937 4220042 4521000 4526202 4630574 4642879 4657596 4666887 4671577 4690212 4691352  
4727224 4743181 4744280

■ **112911-03 – SunOS 5.9: ifconfig Patch**

4396697 4417647 4425786 4479794 4488694 4592876 4648388 4660167 4661975 4676731 4688392  
4688398 4688704 4694560

■ **112912-01 – SunOS 5.9: libinetcfg Patch**

4396697 4417647 4425786 4479794 4592876 4648388

■ **112913-01 – SunOS 5.9: fruadm Patch**

4505850

■ **112915-01 – SunOS 5.9: snoop Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4396697 4417647 4425786 4475921 4479794 4532805  
4532808 4532860 4559001 4587434 4592876 4635766 4637330 4637788 4648299 4648388

■ **112916-01 – SunOS 5.9: rtquery Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434  
4635766 4637330 4637788 4648299

■ **112917-01 – SunOS 5.9: ifrt Patch**

4645471

■ **112918-01 – SunOS 5.9: route Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434  
4635766 4637330 4637788 4645471 4648299

■ **112919-01 – SunOS 5.9: netstat Patch**

4645471

■ **112920-02 – SunOS 5.9: libipp Patch**

4644731 4647361 4712511

■ **112921-01 – SunOS 5.9: libkadm5 Patch**

4197937 4220042 4642879

■ **112922-01 – SunOS 5.9: krb5 lib Patch**

4197937 4220042 4642879

■ **112923-02 – SunOS 5.9: krb5 usr/lib Patch**

4197937 4220042 4642879 4703622

■ **112924-01 – SunOS 5.9: kdestroy kinit klist kpasswd Patch**

4197937 4220042 4642879

■ **112925-02 – SunOS 5.9: ktutil kdb5\_util kadmin kadmin.local kadmind Patch**

4197937 4220042 4642879 4646370

■ **112926-03 – SunOS 5.9: smartcard Patch**

4366894 4524620 4629775 4635010 4635082 4635106 4636389 4639842 4642726 4646472 4646476  
4646497 4647454 4647542 4649161 4655166 4676018 4682730 4683241

■ **112927-01 – SunOS 5.9: IPQos Header Patch**

4644731 4647361

■ **112928-01 – SunOS 5.9: in.ndpd Patch**

4396697 4417647 4425786 4479794 4592876 4648388

■ **112929-01 – SunOS 5.9: RIPv2 Header Patch**

1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434  
4635766 4637330 4637788 4648299

■ **112941-06 – SunOS 5.9: sysidnet Utility Patch**

4519228 4678406 4683519 4698391 4698500 4704974 4711830 4719195 4759857 4787789

■ **112943-07 – SunOS 5.9: Volume Management Patch**

4429002 4478237 4508734 4516578 4576802 4632847 4637525 4645142 4648750 4656914 4656931  
4660125 4664713 4696741 4704081 4715667 4730706 4739995 4764186 4773530 4791015

■ **112945-14 – SunOS 5.9: wbem Patch**

4486297 4496120 4626762 4639638 4641801 4641818 4641851 4643267 4644880 4645051 4645080  
4645105 4645146 4645315 4645581 4645811 4647508 4648811 4649058 4654765 4655882 4656941  
4658145 4674537 4682188 4686244 4696284 4699585 4700539 4701067 4720857 4739720 4742164  
4742960 4754758 4759233 4766098 4766971 4768461 4769053 4769612 4769791 4769795 4769860  
4769889 4770013 4770017 4770024 4770027 4771207 4771466 4771469 4771476 4773485 4781761  
4786712 4786891 4792126 4795642 4809906 4813116

■ **112951-04 – SunOS 5.9: patchadd and patchrm Patch**

4421583 4529289 4623249 4625879 4639323 4678605 4706994 4723617 4725419 4728892 4731056  
4737767 4744964 4750803 4759158

■ **112954-04 – SunOS 5.9: uata Driver Patch**

4432931 4506478 4643720 4776171

■ **112955-01 – SunOS 5.9: patch kernel/fs/autofs kernel/fs/sparcv9/autofs**

4471199 4631449

■ **112958-02 – SunOS 5.9: patch pci.so**

4657365 4779758 4695771

■ **112959-01 – SunOS 5.9: patch libfru**

4643255 4661738

■ **112960-06 – SunOS 5.9: patch libsldap ldap\_cachemgr**

4357827 4614945 4624458 4630226 4645604 4648140 4648146 4658625 4660019 4677591 4682120  
4683522 4720818 4723361 4751386 4776571

■ **112961-01 – SunOS 5.9: patch platform/SUNW,Ultra-Enterprise/kernel/drv/sysctrl**

4638234

■ **112963-05 – SunOS 5.9: linker patch**

4526752 4529912 4533195 4546416 4616944 4621479 4622472 4624658 4630224 4633860 4638070  
4642829 4651493 4651709 4654406 4655066 4662575 4664855 4668517 4669582 4671493 4696204  
4701749 4706503 4707808 4710814 4716929 4730433 4739660 4743413 4744337 4745932 4746231  
4754751 4755674 4772927 4774727

■ **112964-03 – SunOS 5.9: ksh using control Z under ksh does not work well with vi**

4223444 4702798 4750637

■ **112965-01 – SunOS 5.9: patch /kernel/drv/sparcv9/eri**

4467555 4467562 4479894 4496082 4518457 4528597 4546894 4599774 4637678

■ **112966-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/vold**

4638163

■ **112967-04 – SunOS 5.9: /kernel/drv/nca Patch**

4487572 4629396 4631903 4650210 4681040

■ **112968-01 – SunOS 5.9: patch /usr/bin/renice**

4502191

■ **112969-02 – SunOS 5.9: vold slows down the boot process**

4592827 4715363

■ **112970-03 – SunOS 5.9: patch libresolv.so.2**

4646349 4700305 4708913 4777715

■ **112971-03 – SunOS 5.9: patch kernel/fs/cacheefs**

4368576 4398885 4493561 4615194

■ **112972-02 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/libssagent.so.1 /usr/lib/libssasmp.so.1**

4395096 4633918 4643121 4691177

■ **112975-01 – SunOS 5.9: patch /kernel/sys/kaio**

4682197

■ **112985-03 – SunOS 5.9: Volume Management Localization message patch**

4692900 4775188 4804590

■ **112987-01 – SunOS 5.9: patch /platform/sun4u/kernel/tod/sparcv9/todsg**

4618950

■ **112998-02 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/syslogd**

4243984 4424387 4558909 4665297 4670382 4670414 4670468 4674435 4705713

■ **113020-01 – SunOS 5.9: SUNW\_LOC changes needed and Thai date format updated**

4674651 4683429

■ **113021-01 – SunOS 5.9: yesstr, nostr nl\_langinfo() strings incorrect**

4660271

■ **113023-01 – SunOS 5.9: Broken preremove scripts in S9 ALC packages**

4707449

■ **113024-04 – SunOS 5.9: wrsm Driver Patch**

4114317 4519289 4619267 4633655 4634907 4636186 4644822 4661403 4661424 4680447 4683307  
4684649 4694445 4699257 4703343 4719669 4737372 4738280 4772117

■ **113025-01 – SunOS 5.9: libpsvcpolicy\_psr.so.1 Patch**

4640559

■ **113026-05 – SunOS 5.9: /kernel/drv/md Patch**

4373671 4462054 4508010 4525396 4615383 4615387 4631270 4632281 4634737 4640578 4643091  
4648067 4653481 4655532 4662172 4665951 4666299 4668224 4668960 4669927 4678627 4680610  
4683907 4690701 4690983 4698878 4701093 4705486 4705513 4710390 4711969 4714648 4714923  
4715369 4715443 4718706 4720138 4723547 4725693 4733518 4740375 4774716 4780601 4802281  
4814438

■ **113027-01 – SunOS 5.9: libfrureg.so.1 Patch**

4687199

■ **113028-01 – SunOS 5.9: patch /kernel/ipp/flowacct**

4645622 4658416

■ **113029-03 – SunOS 5.9: libaio.so.1 librt.so.1 and abi\_libaio.so.1 Patch**

4222093 4491712 4529739 4529831 4529893 4635940 4635945 4636591 4665847

■ **113030-02 – SunOS 5.9: /kernel/sys/doorfs Patch**

4659950 4699850

■ **113031-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/edit Patch**

4635504

■ **113032-01 – SunOS 5.9: /usr/sbin/init Patch**

4503048

■ **113033-03 – SunOS 5.9: patch /kernel/drv/isp and /kernel/drv/sparcv9/isp**

4521066 4657311 4661696 4672156 4682951 4729861

■ **113038-03 – SunOS 5.9: JFP manpages patch**

4808428 4809083 4695070 4742031 4688476 4710452 4717366

- 4529255
  - **113046-01 – SunOS 5.9: fcp Patch**
- 4334693 4622990 4716238 4820044
  - **113049-01 – SunOS 5.9: luxadm & liba5k.so.2 Patch**
- 4614828 4668356 4668371
  - **113061-01 – SunOS 5.9: UTF-8 locale UMLE patch**
- 4672995 4799299
  - **113068-03 – SunOS 5.9: hpc3130 patch**
- 4658282
  - **113070-01 – SunOS 5.9: ftp patch**
- 4696138
  - **113071-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/acctadm**
- 4334693 4622990 4670999 4689757 4716238 4726667 4766161 4781880 4785642 4791416
  - **113072-05 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/format**
- 1101554 4409244 4651323
  - **113073-02 – SunOS 5.9: ufs\_log patch**
- 4654448 4712441
  - **113074-04 – SunOS 5.9: ngdr.conf patch**
- 4660871
  - **113075-01 – SunOS 5.9: pmap patch**
- 4643257 4673713 4687991 4731988
  - **113076-02 – SunOS 5.9: dhcpmgr.jar Patch**
- 4666211 4707716 4709299 4734045 4766657
  - **113077-04 – SunOS 5.9: patch su driver**
- 4688066 4708093 4747781
  - **113085-02 – SunOS 5.9: Thai font enhancement**
- 4672806
  - **113086-01 – SunOS 5.9: iconv modules between zh\_CN.euc and UTF-8 are incompatible**
- 4692528
  - **113087-01 – SunOS 5.9: Cannot use other fonts to display Asian characters in xterm**
- 4684184 4682788 4707897
  - **113096-02 – X11 6.6.1: OWconfig patch**

- 4684184 4737595 4750162 4749332 4770510

  - **113098-04 – X11 6.6.1: X RENDER extension patch**
- 4704023

  - **113125-01 – SunOS 5.9: missing libc\_psr.so.1 symlink**
- 4707235

  - **113145-02 – SunOS 5.9: Naturetech /platform links are not exist**
- 4705227 4759882 4737442 4768221

  - **113146-02 – SunOS 5.9: Apache Security Patch**
- 4700173

  - **113167-01 – SunOS 5.9: JFP xhost manpage patch**
- 4114317

  - **113218-07 – SunOS 5.9: patch pcipsy**
- 4114317 4640542 4655634 4669486 4674788 4678396 4682258 4697219 4704996 4713409 4713787  
4721396 4726041 4769411

  - **113219-01 – SunOS 5.9: patch /platform/SUNW,Ultra-Enterprise/kernel/drv/fhc**
- 4114317

  - **113220-01 – SunOS 5.9: patch /platform/sun4u/kernel/drv/sparcv9/upa64s**
- 4114317

  - **113221-02 – SunOS 5.9: libprtdiag\_psr.so.1 Patch**
- 4664349 4665239 4697505

  - **113222-02 – SunOS 5.9: patch /kernel/misc/nfssrv and /kernel/misc/sparcv9/nfssrv**
- 4531662 4658316 4683308

  - **113223-01 – SunOS 5.9: idn Patch**
- 4524236

  - **113224-01 – SunOS 5.9: efdaemon Patch**
- 4633009

  - **113225-01 – SunOS 5.9: 2002c Timezone Patch**
- 4649654 4683487

  - **113226-01 – SunOS 5.9: hme Driver Patch**
- 4364929

  - **113228-01 – SunOS 5.9: 64 bit locale links missing in Solaris 9**
- 4664306

  - **113240-03 – CDE 1.5: dtsession patch**
- 4701185 4743546 4763733

  - **113244-01 – CDE 1.5: dtwm patch**



4743546

- 113273-01 – SunOS 5.9: /usr/lib/ssh/sshhd Patch

4708590

- 113274-01 – SunOS 5.9: libdhcputil Patch

4118738

- 113275-02 – SunOS 5.9: procfs Patch

4254013 4533712 4664249

- 113276-03 – SunOS 5.9: md\_trans Patch

1101554 4373671 4409244 4462054 4696312 4714648 4715443 4720138 4742084

- 113277-08 – SunOS 5.9: sd and ssd Patch

4027074 4313732 4334693 4336105 4358054 4360365 4375499 4412239 4500536 4527668 4622990  
4624524 4645691 4651339 4651386 4651679 4654850 4655315 4656322 4656416 4672504 4673243  
4716238 4722426 4725656 4728530 4734019 4734033 4744131 4758953 4770566 4773941 4819633

- 113278-01 – SunOS 5.9: NFS Daemon Patch

4492876

- 113279-01 – SunOS 5.9: klmmod Patch

4492876

- 113280-01 – SunOS 5.9: patch /usr/bin/cpio

4646589 4661824 4674849 4677773 4679533 4679805 4688928

- 113281-01 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/netsvc/yp/ypbind

4515621

- 113318-04 – SunOS 5.9: patch /kernel/fs/nfs and /kernel/fs/sparcv9/nfs

4044295 4427971 4465488 4658316 4664740 4680195 4725574 4816496

- 113319-09 – SunOS 5.9: patch /usr/lib/libnsl.so.1

1226166 4192824 4248430 4390053 4517003 4648085 4680691 4690775 4691127 4700602 4710928  
4727726 4753610 4756113 4772960 4825334

- 113320-03 – SunOS 5.9: patch se driver

4626537 4655495 4730608 4735231 4755417

- 113321-03 – SunOS 5.9: patch sf and social

4451550 4492895 4589401 4643768 4657427

- 113322-01 – SunOS 5.9: patch uucp

4686442

- 113323-01 – SunOS 5.9: patch /usr/sbin/passmgmt

4687515

- 113325-01 – SunOS 5.9: patch powerd

- 4678303 4697189 4697205
- **113326-01 – SunOS 5.9: tar Patch**
- 4662552
- **113327-01 – SunOS 5.9: pppd Patch**
- 4684948
- **113328-01 – SunOS 5.9: tmpfs Patch**
- 4682537
- **113329-01 – SunOS 5.9: lp Patch**
- 4640166
- **113330-01 – SunOS 5.9: rpcbind Patch**
- 1226166 4690775
- **113331-01 – SunOS 5.9: usr/lib/nfs/rquotad Patch**
- 4683311
- **113332-04 – SunOS 5.9: libc\_psr.so.1 Patch**
- 4666069
- **113334-01 – SunOS 5.9: udfs Patch**
- 4548887 4651869 4655796 4714259
- **113335-01 – SunOS 5.9: devinfo Patch**
- 4522638
- **113361-02 – SunOS 5.9: Sun Gigabit Ethernet 3.0 driver patch**
- 4671573 4527681 4759414 4656013 4718277 4650055 4707744
- **113374-02 – X11 6.6.1: xpr patch**
- 4704388
- **113390-01 – SunOS 5.9 : CTYPE errors in "ar" locale**
- 4728460
- **113391-01 – SunOS 5.9 : S9 : CTYPE errors in "He\_IL"/"he" locales**
- 4728469
- **113400-01 – SunOS 5.9: zh\_CN.GBK is incomplete for 64 bit**
- 4762909
- **113403-02 – SunOS 5.9: Tamil/Kannada/Gujarati/Bengali support**
- 4769446 4752426 4767689 4767747
- **113405-02 – SunOS 5.9: sync with 4751190 for th\_TH.UTF-8 locales**
- 4751190



■ **113470-01 – SunOS 5.9: winlock Patch**

4533078 4533108 4630754 4638608 4644346 4648171

■ **113471-02 – SunOS 5.9: truss Patch**

4254013 4533078 4533108 4533712 4630754 4638608 4644346 4648171

■ **113472-01 – SunOS 5.9: madv & mpss lib Patch**

4533078 4533108 4630754 4638608 4644346 4648171

■ **113475-02 – SunOS 5.9: usr/lib/security crypt Patch**

4192824 4248430 4390053 4700602 4715561

■ **113476-05 – SunOS 5.9: usr/lib/passwdutil.so.1 pam\_ldap Patch**

4192824 4248430 4357827 4390053 4658625 4660019 4670947 4677591 4682120 4683522 4700602  
4709300 4743707 4747441 4751394 4754634 4756113

■ **113480-02 – SunOS 5.9: usr/lib/security/pam\_unix.so.1 Patch**

4192824 4248430 4390053 4700602 4756113

■ **113482-01 – SunOS 5.9:/sbin/sulogin Patch**

4192824 4248430 4390053 4700602

■ **113483-02 – SunOS 5.9: usr/lib/netsvc/yp/rpc.yppasswd Patch**

4192824 4248430 4283355 4390053 4700602

■ **113484-02 – SunOS 5.9: WBEM SDK Localization message patch**

4733195

■ **113485-01 – SunOS 5.9: DHCP Manager Localization message patch**

4733194

■ **113488-01 – SunOS 5.9: Field Replacement Unit ID Platform & Access Library Patch**

4703981 4715000

■ **113489-02 – SunOS 5.9: sbd & sbdp Patch**

4641546 4696700

■ **113490-01 – SunOS 5.9: Audio Device Driver Patch**

4660099 4670245 4701098

■ **113492-01 – SunOS 5.9: fsck Patch**

4640210 4693730 4714988 4734635

■ **113493-01 – SunOS 5.9: libproc.so.1 Patch**

4725696

■ **113494-01 – SunOS 5.9: iostat Patch**

4511098 4679590

- 4433415 4672974

  - **113495-01 – SunOS 5.9: cfgadm Library Patch**
- 4383820

  - **113496-01 – SunOS 5.9: inetd Patch**
- 4731970 4726510

  - **113513-02 – X11 6.6.1: platform support for new hardware**
- 4613988 4661605 4669462 4675057 4696700 4746505 4756231 4759384 4779758

  - **113538-05 – SunOS 5.9: ngdr Patch**
- 4689365 4633549

  - **113541-02 – X11 6.6.1: XKB patch**
- 4495650 4692542

  - **113571-02 – SunOS 5.9: eFCode & fcgp2 Patch**
- 4649171

  - **113572-01 – SunOS 5.9: docbook-to-man.ts Patch**
- 4487110 4718737

  - **113573-01 – SunOS 5.9: libpsvc Patch**
- 4487110 4718737

  - **113574-02 – SunOS 5.9: SUNW,Sun-Fire-880 libpsvc Patch**
- 4678365 4697068 4704672 4704675 4706596 4706608 4706632 4706660 4720281 4725387 4728227  
4737586 4756570 4798135 4808977 4809539

  - **113575-03 – SunOS 5.9: sendmail Patch**
- 4632818

  - **113576-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/dd Patch**
- 4701391

  - **113577-01 – SunOS 5.9: /usr/kernel/sched/FX Patch**
- 4670609

  - **113578-01 – SunOS 5.9: inetboot Patch**
- 4737417

  - **113579-01 – SunOS 5.9: ypserv/ypxfrd Patch**
- 4715028

  - **113580-01 – SunOS 5.9: mount Patch**
- 4646929

  - **113581-01 – CDE 1.5: message patch to add to /usr/dt/bin/dt1p**
- 4646929

  - **113584-01 – SunOS 5.9: yesstr, nostr nl\_langinfo() strings incorrect in S9**

- 4745109
- **113713-02 – SunOS 5.9: pkginstall Patch**
- 4720211 4786593
- **113716-01 – SunOS 5.9: sar & sadc Patch**
- 4627454 4723484
- **113718-01 – SunOS 5.9: usr/lib/utmp\_update Patch**
- 4705891
- **113720-01 – SunOS 5.9: rootnex Patch**
- 4692542
- **113742-01 – SunOS 5.9: smcpreconfig.sh Patch**
- 4704611
- **113746-01 – SunOS 5.9: uxlibc Localization message patch**
- 4760256
- **113762-02 – X11 6.6.1: xdm patch**
- 4748474 4707057 4707069 4721898 4740125
- **113764-02 – X11 6.6.1: keyboard patch**
- 4716868 4237479 4633549
- **113789-01 – CDE 1.5: dtexec patch**
- 4759425
- **113796-02 – CDE 1.5: Tooltalk feature patch**
- 4722127 4741187 4744289 4784893
- **113798-01 – CDE 1.5: libDtSvc feature patch**
- 4720526
- **113799-01 – SunOS 5.9: solregis Patch**
- 4762680
- **113813-02 – SunOS 5.9: Gnome Integration Patch**
- 4752366 4770721
- **113831-02 – SunOS 5.9: Estonian decimal point character incorrect**
- 4733239
- **113839-01 – CDE 1.5: sdtwsinfo feature patch**
- 4729180
- **113841-01 – CDE 1.5: answerbook feature patch**
- 4729199

- 4729959
  - 113861-01 – CDE 1.5: dtksh feature patch
- 4732757
  - 113863-01 – CDE 1.5: dtconfig feature patch
  - 113868-01 – CDE 1.5: PDASync patch
- 4653758 4705576 4642465
  - 113896-01 – SunOS 5.9: en\_US.UTF-8 locale patch
- 4746498 4749928 4633291 4758189 4761039 4753468 4757704 4765728 4765666 4751190 4751699 4767922 4768220
  - 113902-03 – SunOS 5.9: Asian UTF-8 iconv modules enhancement
  - 113904-02 – SunOS 5.9: 7 indic scripts support in Asian UTF-8 locales
  - 113906-01 – SunOS 5.9: Fixed some functional problems in Chinese locales
  - 113911-01 – SunOS 5.9: BCP applications hangs with NIS in asian locales
  - 113923-02 – X11 6.6.1: security font server patch
- 4764193
  - 113964-04 – SunOS 5.9: usr/sbin/6to4relay patch
- 1148813 1240645 4075054 4327168 4341344 4475921 4532805 4532808 4532860 4559001 4587434 4635766 4637330 4637788 4639729 4648299 4660167 4661975 4673190 4676731 4688392 4688398 4688704 4690565 4694560 4699047 4701276 4705755 4726444 4728056 4728423 4804064
  - 113971-01 – SunOS 5.9: ATOK12 patch
  - 113973-01 – SunOS 5.9: adb Patch
  - 113975-01 – SunOS 5.9: ssm Patch
  - 113977-01 – SunOS 5.9: awk/sed pkgscripts Patch
  - 113978-01 – SunOS 5.9: syseventconfd Patch
  - 113981-02 – SunOS 5.9: devfsadm Patch

4334693 4517655 4622990 4703964 4716238 4734853

- **113984-01 – SunOS 5.9: iosram Patch**

4721302

- **113993-02 – SunOS 5.9: mkfs Patch**

4708464 4721124

- **114003-01 – SunOS 5.9: bbc driver Patch**

4706975

- **114004-01 – SunOS 5.9: sed Patch**

4727485

- **114006-01 – SunOS 5.9: tftp Patch**

4656587

- **114008-01 – SunOS 5.9: cachefs Patch**

1250956 4110712 4230685 4338920 4467621 4507274 4616030 4698882 4698886 4740460

- **114010-01 – SunOS 5.9: m4 Patch**

4174383

- **114014-01 – SunOS 5.9: libxml Patch**

4665029 4668974 4702333

- **114016-01 – tomcat security patch**

4759554

- **114020-01 – SunOS 5.9: Synching Euro UTF-8s to include Indic scripts**

4773318

- **114033-01 – SunOS 5.9: Fixing hebrew input method problems**

4755447

- **114037-01 – SunOS 5.9: patch for supporting indic script**

4774476

- **114039-01 – SunOS 5.9: Bug fix for dtpad column in Euro UTF-8 locales**

4773166

- **114125-01 – SunOS 5.9: IKE should support hardware assist for certs and Oakley**

4666686 4673333 4687237 4704460 4739746 4745493 4745709

- **114126-01 – SunOS 5.9: todods1287 patch**

4692023

- **114127-01 – SunOS 5.9: abi\_libefi.so.1 Patch**

4334693 4622990 4716238



- 114128-01 – SunOS 5.9: sd\_lun patch

4334693 4622990 4716238
- 114129-01 – SunOS 5.9: multi-terabyte disk support -libuuid patch

4334693 4622990 4716238
- 114131-01 – SunOS 5.9: multi-terabyte disk support - libadm.so.1 patch

4334693 4622990 4716238
- 114132-01 – SunOS 5.9: fmthard patch

4334693 4622990 4716238
- 114133-01 – SunOS 5.9: mail Patch

4705717
- 114135-01 – SunOS 5.9: at utility Patch

4776480
- 114153-01 – SunOS 5.9: Japanese SunOS 4.x Binary Compatibility(BCP) patch

4775198 4775194
- 114165-01 – CDE 1.5: SUNWsregu Localization message patch

4762680
- 114211-01 – SunOS 5.9: WBEM Localization message patch

4786427 4767999
- 114215-02 – SunOS 5.9: Install/admin Localization message patch

4788175 4804609
- 114217-01 – SunOS 5.9: Install/admin Localization message patch

4788175
- 114219-02 – CDE 1.5: sdtimage patch

4746059 4728421
- 114221-02 – SunOS 5.9: UR bug fixes

4791189 4789202
- 114224-01 – SunOS 5.9: csh Patch

4479584
- 114226-01 – SunOS 5.9: zsh driver Patch

4639552
- 114227-01 – SunOS 5.9: yacc Patch

4735960
- 114229-01 – SunOS 5.9: action\_filemgr.so.1 Patch

4714071

- **114231-01 – SunOS 5.9: rpcmod Patch**

4662762

- **114233-01 – SunOS 5.9: rsm Patch**

4679690 4700142 4728023 4754589

- **114235-01 – SunOS 5.9: libsendfile.so.1 Patch**

4640982 4711013

- **114244-01 – SunOS 5.9: some characters can't be shown in GBK and GB18030 locales**

4771032

- **114274-02 – SunOS 5.9: Add missing euro entries to UTF-8 fontpaths**

4789856 4798658 4762506

- **114282-01 – CDE 1.5: libDtWidget patch**

4776648

- **114312-01 – CDE1.5: GNOME/CDE Menu for Solaris 9**

4748729

- **114321-01 – SunOS 5.9: Patch Manager Localization message patch**

4795479

- **114325-01 – SunOS 5.9: psvcobj Patch**

4658782

- **114326-02 – SunOS 5.9: /usr/lib/dcs Patch**

4683247 4775925

- **114329-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/pax Patch**

4766460

- **114331-01 – SunOS 5.9: power Patch**

4776968 4785495

- **114332-02 – SunOS 5.9: c2audit & \*libbsm.so.1 Patch**

4457028 4499864 4712958 4761401

- **114335-01 – SunOS 5.9: usr/sbin/rmmount Patch**

4705226

- **114338-01 – SunOS 5.9: todm5819 Patch**

4721451

- **114339-01 – SunOS 5.9: wrsm header files Patch**

4619267 4661424 4694445 4738280

- 4655205                   ■ 114340-01 – SunOS 5.9: SUNW\_filesys\_rcm.so Patch
- 4777791                   ■ 114344-01 – SunOS 5.9: kernel/drv/arp Patch
- 4788809                   ■ 114347-01 – SunOS 5.9: etc/init.d/efcode Patch
- 4721209                   ■ 114349-01 – SunOS 5.9: sbin/dhccpagent Patch
- 4761190                   ■ 114352-03 – SunOS 5.9: /etc/inet/inetd.conf Patch
- 4685658                   ■ 114356-01 – SunOS 5.9: /usr/bin/ssh Patch
- 4697555                   ■ 114359-01 – SunOS 5.9: mc-us3 Patch
- 4634031                   ■ 114360-01 – SunOS 5.9: platform/sun4u/cprboot Patch
- 4302817 4331110 4335489 4342447 4348291 4361731 4389001 4446576 4477843 4505225 4526709  
4628272 4649233           ■ 114361-01 – SunOS 5.9: /kernel/drv/lofi Patch
- 4725245                   ■ 114363-01 – SunOS 5.9: sort Patch
- 4334693 4622990 4716238           ■ 114369-01 – SunOS 5.9: prtvtoc patch
- 4518988 4694626 4709984           ■ 114370-01 – SunOS 5.9: libumem.so.1 patch
- 4518988 4694626 4709984           ■ 114371-01 – SunOS 5.9: UMEM - libumem (mdb components) patch
- 4518988 4694626 4709984           ■ 114372-01 – SunOS 5.9: UMEM - llib-lumem patch
- 4518988 4694626 4709984           ■ 114373-01 – SunOS 5.9: UMEM - abi\_libumem.so.1 patch
- 4518988 4694626 4709984           ■ 114374-01 – SunOS 5.9: Perl patch
- 4675538 4724626 4768924           ■ 114375-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - PICL & FRUID

4490112 4510864 4599397 4679229 4692005 4692053 4710160 4710161 4713409 4726041 4733895  
4733898 4760403 4776134

■ **114376-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - platform links**

4713409 4726041 4780672

■ **114377-03 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - BSC comms support**

4713409 4764078 4781113 4819633

■ **114378-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto TOD driver**

4713409 4781113 4819633

■ **114379-01 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - libprtdiag support**

4713409 4726041

■ **114380-01 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - rmc\_comm/rmcadm/rmclomv/librsc support**

4726041

■ **114381-03 – SunOS 5.9: rmc\_comm/rmcadm/rmclomv/librsc patch**

4726041 4733895 4762548 4775419 4781113 4819633

■ **114382-01 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - bge driver**

4726041

■ **114383-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - pca9556 driver**

4726041 4781113 4819633

■ **114384-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - mc-us3i driver**

4726041 4781113 4819633

■ **114385-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - pmugpio pmubus driver**

4726041 4781113 4819633

■ **114386-02 – SunOS 5.9: todm5819p\_rmc driver patch**

4726041 4781113 4819633

■ **114387-02 – SunOS 5.9: Enchilada/Stiletto - scadm support**

4448914 4726041 4733895

■ **114388-01 – SunOS 5.9: dmfe driver patch**

4463714 4498135 4643212 4646439

■ **114389-01 – SunOS 5.9: devinfo doesn't work on disks with EFI labels**

4745581

■ **114390-01 – SunOS 5.9: Slot 1 DR - GPTWOCFG patch**

4779758

■ **114391-01 – SunOS 5.9: Slot 1 DR - Efcodes Patch**

4659144 4779758

- **114392-01 – SunOS 5.9: Slot 1 DR - Efcodes Patch**

4682824 4779758

- **114393-02 – SunOS 5.9: cpc Patch**

4819633

- **114394-02 – SunOS 5.9: trapstat Patch**

4819633

- **114395-03 – SunOS 5.9:**

4819633

- **114418-02 – SunOS 5.9: cpr patch**

4807341 4819633

- **114470-02 – SunOS 5.9: XVR-4000 Graphics Patch**

4796037 4797704 4796973 4799777 4792452 4801660 4800526 4812003 4802530 4804995 4808067  
4796917

- **114473-03 – SunOS 5.9: Introduction Fujitsu SPARC64-V platforms patch**
- **114482-02 – SunOS 5.9: flarcreate Patch**

4385866 4391400 4655075 4753030 4767378 4767678 4768717 4801439

- **114495-01 – CDE 1.5: dtprintinfo patch**

4788209

- **114497-01 – CDE 1.5: dtsession patch**

4788212

- **114501-01 – SunOS 5.9: drmproviders.jar Patch**

4712814

- **114503-03 – SunOS 5.9: usr/sadm/lib/usermgr/VUserMgr.jar Patch**

4762502 4803524

- **114507-01 – SunOS 5.9: date problems in he\_IL.UTF-8 locale**

4791206

- **114509-01 – SunOS 5.9: cs\_CZ Locale not usable**

4793388

- **114510-01 – SunOS 5.9: Introduction Fujitsu SPARC64-V platforms patch**
- **114513-02 – SunOS 5.9: patch for Japanese and English X man pages**

4811454 4797892 4801395

- **114516-01 – SunOS 5.9: patch for English sdtudctool man pages for S9UR3**

4808428

- 114561-01 – X11 6.6.1: X splash screen patch

4807285

- 114636-02 – SunOS 5.9: KCMS security fix

4661008 4774256

- 114711-01 – SunOS 5.9: usr/sadm/lib/diskmgr/VDiskMgr.jar Patch

4818306